



「益田のスーパーと言えばキヌヤ！」
そんな地域住民に親しまれているキヌヤ
取材しました。

キヌヤでは地域に貢献することをモットーに、
地元の食材を豊富に取り揃え、
品質にこだわっています。



キヌヤ 益田ショッピングセンター店

地産地消

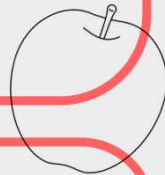
入店してすぐ目につく入口付近に「地のもんひろば」を設置。

ローカルブランドに力を入れておられ、惣菜や弁当もできる限り地元の食材で作っています。



5 A DAY運動

1日野菜350g以上、果物200gの摂取を促す運動で、地域の小中学校とも連携して行っているそうです。店内にもポップが掲示してあるので、買い物しながら目安量を知ることができます。



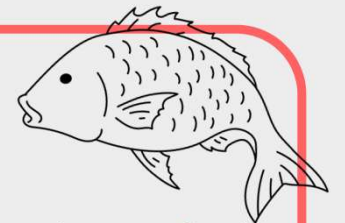
からだサポートの売り場

減塩やグルテンフリー、糖質オフの商品の売り場を設置。お客様の健康志向に寄り添った、また健康志向を高めることにも貢献しています。

トレーサビリティシステムの導入

「トレーサビリティシステム」とは、生産から消費までの全過程で流通経路が追跡できるシステムのことです。商品のパッケージについているQRコードから商品の情報を見ることができ、お客様が安心して商品を選択できます。

鮮魚コーナーでの食育



食に興味を持ってもらえるように、珍しい魚を展示することで子どもへの食育につなげています。

「地元の食材を食べることが食育、健康に繋がる」という店長さんの思いが、店頭にも並ぶ商品や売り場づくりに現れています。